

令和 5 年 7 月 25 日

各関係機関の長様

広島県農林水産局長
(農業技術課)

令和 5 年度病害虫発生予察情報注意報第 1 号について (通知)

このことについて、次のとおり発表します。

令和 5 年度 病害虫発生予察情報注意報第 1 号

令和 5 年 7 月 25 日
広島県農林水産局

【作物名】 水稲 (早生種)

【病害虫名】 いもち病 (穂いもち)

1 適用地域 中西部、中東部

2 今後予想される発生量 多

3 防除時期 穂いもち：穂ばらみ期及び穂ぞろい期

4 根拠

- (1) 葉いもち (図 1) の発生は、7月上旬から7月下旬にかけて急速に広がった。7月19日から20日に実施した7月下旬の巡回調査では、早生種での発生地点率が87.5%(平年40.6%)と過去10年間において最も高くなっており、平均発生程度は1.33(平年1.17)と過去10年間において3番目に高くなっている (表)。
- (2) 上位葉に病斑の認められるほ場が散見され、また、一部地点で進展型病斑も認められる。
- (3) 巡回調査ほ場以外の一部ほ場において、本病によるずりこみ症状が認められている (図 2)。

5 防除上の注意事項

- (1) 穂ばらみ期及び穂ぞろい期の穂いもちの基幹防除を徹底する。
- (2) 早生種では穂ばらみ期及び穂ぞろい期の防除に加え、葉いもちの発生が多く、上位葉に病斑が見られる場合は、穂ぞろい期の防除の7日から10日後までに追加防除を行う。
- (3) 中生種で葉いもちが多発しているほ場では、直ちに粉剤または液剤で防除する。
- (4) 薬剤散布については、農薬使用基準（使用濃度、使用回数、収穫前使用日数等）を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。



図1 葉いもち病斑

図2 ずりこみ症状

表 中西部、中東部地域での葉いもち発生状況（早生）

	発生地点率(%)	平均発生程度
本年	87.5	1.33
平年	40.6	1.17
前年	50.0	1.21

(注) 平均発生程度は、1.00を基準として、数値が高いほど、病気が進展、まん延していることを示す。

地帯区分	該 当 市 町
南 部	<p>広島市中区、広島市東区、広島市南区、広島市西区 広島市安佐南区（沼田町、伴東、伴南、伴西、伴北、大塚西、大塚東を除く） 広島市安佐北区（狩留家町、上深川町、深川町、深川、小河原町、倉掛、亀崎、真亀、 落合町、落合南町、口田町、口田南町、口田、口田南） 広島市安芸区（阿戸町を除く） 広島市佐伯区（湯来町、杉並台を除く） 大竹市 廿日市市（玖島、永原、峠、友田、河津原、津田、浅原、虫所山、飯山、中道、栗栖、 吉和を除く） 府中町、海田町、熊野町、坂町 呉市、竹原市、江田島市 東広島市安芸津町 大崎上島町 三原市（久井町、大和町を除く） 尾道市 福山市 府中市（上下町を除く）</p>
中東部	<p>三原市久井町 世羅町 府中市上下町 神石高原町 三次市（君田町、布野町、作木町を除く） 庄原市（西城町、東城町、口和町、高野町、比和町を除く）</p>
中西部	<p>広島市安佐南区（沼田町、伴東、伴南、伴西、伴北、大塚西、大塚東） 広島市安佐北区（狩留家町、上深川町、深川町、深川、小河原町、倉掛、亀崎、真亀、 落合町、落合南町、口田町、口田南町、口田、口田南を除く） 広島市安芸区阿戸町 広島市佐伯区（湯来町、杉並台） 廿日市市（玖島、永原、峠、友田、河津原、津田、浅原、虫所山、飯山、中道、栗栖） 安芸高田市（美土里町、高宮町を除く） 安芸太田町（穴、坪野、津浪、加計、下筒賀、下殿河内、観音、上筒賀、中筒賀） 東広島市（安芸津町を除く） 三原市大和町</p>

北 部	廿日市市吉和 安芸高田市（美土里町、高宮町） 安芸太田町（穴、坪野、津浪、加計、下筒賀、下殿河内、観音、上筒賀、 中筒賀を除く） 北広島町 三次市（君田町、布野町、作木町） 庄原市（西城町、東城町、口和町、高野町、比和町）
-----	---

○お問合せ先

- ・ 広島県農林水産局 農業技術課（082-513-3559）
- ・ 広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム（082-420-9662）
- ・ 県立総合技術研究所農業技術センター（082-429-0521）